様式B-3

特定共同研究（B）　計画調書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　　東京大学地震研究所長　殿

〔代表者〕

職　名

所属機関・部局名

住　所　〒

電　話

E-mail

下記のとおり共同研究の実施について申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題  (課題番号) | （20　　-B- ）  以下のいずれかの該当するものにチェックしてください。  □新規　　　　　　　□2年目　　　　　　□3年目（最終） |
| 研究課題概要 | ※100字～150字で研究内容の概要を以下にご記入ください。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究計画  ※使用する文字は10ptとし、枠は適宜拡張してください。記載分量は(1)と(2)は400字程度、(3)は最大2000字とし、必要経費に応じて、以下の文量を目安として参考にしてください。  50万円未満500字  50-100万円1000字  100-150万円1500字  150-200万円2000字  文献や研究成果を引用する場合には、媒体名（雑誌名、会議名、doiなど）も併せて記載いただくようお願いいたします。  ※なお、様式中の注意事項については、削除いただいてかまいません。 | （１）研究の目的と意義  （継続申請の場合は、今までの成果と今回の申請のポイントについて明記してください。また、特に過去の採択課題の継承課題として申請される場合には、これまでの成果のとりまとめと、実質的に3年を超えた課題を継続することの理由を、必ず明記してください。）  （２）従来の研究成果（この研究課題(継続の場合)、または関連した研究のこれまでの成果を具体的に記入してください。特に、その研究成果（今後の発表予定含む）のうち、査読つき国際学術誌（地震研への謝辞有）への投稿がある場合は、必ず明記してください。成果の発表がなされた媒体名（雑誌名、会議名、doiなど）も併せて記載いただくようお願いいたします。）  （３）実施計画及び経費の使用目的・意義  （研究方法や、本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述してください。また、調査・研究対象地がある場合にはその選定理由も記述してください。加えて研究期間終了後、どのように外部資金獲得へ繋げていくか等の出口戦略についても、記載してください。） | | | | | | | |
| 研究組織  ※枠は適宜拡張してください。 | 氏名 | | 所属機関 | | | 職名 | | |
| （代表者）  （地震研究所担当教員） | |  | | |  | | |
| 必要経費  (千円)  ※備品の購入はできません。 | 共同研究費（消耗品・役務・謝金等） | | | 旅費 | | | | |
| 事項 | 数量 | 金額 | 経路 | 日数 | | 人数 | 金額 |
|  |  |  |  |  | |  |  |
| 合計 | 千円 | | | 千円 | | | | |
| 総計 | 千円 | | | | | | | |

**次のページに謝辞等についての注意事項が記載してありますので、必ずご確認ください。**

※本共同研究の助成を受けた研究成果を論文等に発表する際には、東京大学地震研究所共同利用により助成を受けた旨の謝辞記載と別刷などの提出を必ずお願いいたします。

※Acknowledgment(謝辞)に、地震研究所より助成を受けた旨を記載する場合には「20XX-X-XXの課題番号」を必ず含めてください。

（記載例：課題番号｢20XX-B-01｣）

【英文】：下のいずれか

・This study was supported by ERI JURP 20XX-B-01 in Earthquake Research Institute, the University of Tokyo.

・This study was funded by Earthquake Res., Inst., the University of Tokyo, Joint Research program 20XX-B-01.

【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(20XX-B-01)の援助をうけました。

※大学院進学予定の学部生は大学院を記載し、職名に進学予定と追記してください。

　（例：大学院生（進学予定））